

工事番号											(様式 - 1)
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------

村長		課長		係長		係		審査者		設計者					
----	--	----	--	----	--	---	--	-----	--	-----	--	--	--	--	--

令和 7 年度 南原地区公共ます新設工事その 7 閲覧設計書

南箕輪村 南原

設 計 大 要	施 工 方 法	
---------	---------	--

汚水ます及び取付管設置工 5箇所	施 工 期 間	日間
	起工予定年月日	令和 年 月 日
	竣工予定年月日	令和 8 年 3 月 31 日
	契約保証方法	金銭的保証
	<ul style="list-style-type: none"> ・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m³、掛m²、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。 	

総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	43 4 伊那(1) 08.01.01		
	当 世 代	前 世 代	
前払率(%) 消費税率(%) 工種 施工地域区分(共通仮設) 施工地域区分(現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増	40 10 % 31 下水道(2) 06 一般交通影響有り(2)-2 06 一般交通影響有り(2)-2 02 上記以外 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

*** 本工事費 ***

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 共通仮設費率計算額 ***						
*** 共通仮設費計 ***						
*** 純工事費 ***						
*** 現場管理費 ***						
*** 工事原価 ***						
* 一般管理費等 *						
*** 工事価格計 ***						
*** 消費税等相当額計 ***						
*** 工事費計 ***						

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工					
		式			
管路掘削					
		m ³			
機械掘削工					
	54	m ³			
管路埋戻					
		m ³			
機械投入埋戻工 BH山積0.28m ³ (平積0.2)発生土					
	28	m ³			
機械投入埋戻工 BH山積0.28m ³ (平積0.2)良質土					
	5.7	m ³			
砂基礎工					
	9.7	m ³			
洗滌砂					
	12	m ³			
発生土処理					
		m ³			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工 運搬距離 3 km	18	m ³			
ます設置工		式			
ます		箇所			
ます設置工 (塩化ビニル製) ます(径200) 横型 100-150-200 鋳鉄製蓋使用	5	箇所			
取付管布設工		式			
取付管		箇所			
硬質塩化ビニール管・ゴム輪受口 径150mm 厚7.1mm 長4.0m	6.7	本			
下水道用塩ビ管VU自在曲管 30° 150	5	個			
埋設シート 150mm シングル	19	m			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設工 管径150以下 管種VU	27	m			施工 第0 -0001号表
リップ付き管用可とう支管 200 - 150	5	個			
支管取付工 本管径200 管種RP	5	箇所			施工 第0 -0002号表
管路土留工		式			
たて込み簡易土留（引抜工）	24	m			
たて込み簡易土留（建込工） ㇿ-ㇿ型 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	24	m			
たて込み簡易土留機材賃料 供用日数分 深さ2.5m掘削幅3.0m未満	1	式			
たて込み簡易土留機材賃料 修理費及び損耗費分 深さ2.5m掘削幅3.0m未満	1	式			
たて込み簡易土留（引抜工）	7.0	m			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
たて込み簡易土留(建込工) 加ラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	7.0	m			
たて込み簡易土留機材賃料 供用日数分 深さ3.0m掘削幅3.0m未満	1	式			
たて込み簡易土留機材賃料 修理費及び損耗費分 深さ3.0m掘削幅3.0m未満	1	式			
*** 単位当り ***	1	式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装撤去工					
		式			
舗装版切断					
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	47	m			
舗装版破碎					
		m ²			
舗装版破碎積込(小規模土工)					
	19	m ²			
殻運搬処理					
		m ³			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間なし 7.0km以下 機械積込(小規模土工)	1.0	m ³			
処分費等					
処分費					
	2.2	t			

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装復旧工(種別毎)					
		式			
下層路盤					
		m ²			
下層路盤 RC-40					
	4.8	m ³			
上層路盤					
		m ²			
上層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工					
	19	m ²			
表層					
		m ²			
表層 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚50mm					
	19	m ²			
区画線工					
		式			
ペイント式区画線					
		m			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 ペイント式(車載式) 実線 15cm	23	m			
*** 単位当り ***	1	式			

施工内訳表

取付管布設工
管径150以下 管種VU

施工 第0 -0001号表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m			

南 箕 輪 村

下水道事業公共ます新設工事

上伊那郡南箕輪村南原

南原地区公共ます新設工事その7

数 量 計 算 書

令和 7 年 度

南 箕 輪 村 役 場

取付管工数量集計表

工種	規格	単位	(村道AS 下層路盤工 有) 標準型(土留有り)		1.0箇所当り		集計		1.0箇所当り		集計		合計
			1.0箇所当り	集計 全箇所数 5 箇所	1.0箇所当り	集計 全箇所数 箇所	1.0箇所当り	集計 全箇所数 箇所	1.0箇所当り	集計 全箇所数 箇所			
土	機械掘削	m ³	10.70	53.50									53.50
	床均し	m ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工	機械埋戻し	(発生土)	m ³	5.54	27.70								27.70
		(良質土)	m ³	1.13	5.65								5.65
		(砂基礎)	m ³	1.93	9.65								9.65
	残土処理	(碎石 RC-40-0)	m ³										
		(発生碎石) 残土処理	m ³	0.96 4.55	4.80 22.75								4.80 22.75
舗装	舗装切断	As t=10cm以下	m	9.44	47.20								47.20
		Co t=15cm	m										
	舗装取壊	As t=10cm以下	m ³	0.19	0.95								0.95
	表層工	粗粒度As t=3cm	m ²										
		密粒度As t=5cm	m ²	3.85	19.25								19.25
	上層路盤工	M-25 t=10cm	m ²	3.85	19.25								19.25
		RC-40 t=25cm	m ²	0.96	4.80								4.80
	下層路盤工	白実線 w=15cm	m	4.50	22.50								22.50
緑 w=35cm		m											
管	片受直管	φ100	m										
		φ150	m	5.37	26.85								26.85
材	可とう支管	φ100	(人取)			(人取)			(人取)				
		φ150	個	1	5								5
料	鉄筋CON支管	φ150	個										
		φ100	個										
	30°曲管	φ100	個										
		φ150	個	1	5								5
自在曲管	φ100	個											
	φ150	個											
取付管継手	φ100	個											
	φ150	個											
仮設	表示シート	シングル w=15cm	m	3.82	19.10								19.10
		建込簡易土留	m	6.27	31.35								31.35

南原地区公共ます新設工事その7

汚水桝設置取付管工 5箇所 箇所
汚水桝標準型 5箇所 箇所

当初 変更

標準型H= 0.8 ----	箇所	箇所
標準型H= 0.9 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.0 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.1 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.2 ----	2箇所	箇所
標準型H= 1.3 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.5 ----	3箇所	箇所
標準型H= 2.1 ----	箇所	箇所
計	5箇所	箇所
ΣH	6.9 m(延長)	m(延長)
φ200PE直管		
L=延長-0.337 * 箇所数	5.2 m	m
汚水桝底部有孔型	箇所	箇所

洗滌砂
11.58

碎石抜
17.95

当初 変更

底孔型H= 0.8 ----	箇所	箇所
底孔型H= 1.0 ----	箇所	箇所
底孔型H= 1.5 ----	箇所	箇所
底孔型H= 1.8 ----	箇所	箇所
計	箇所	箇所
ΣH	m(延長)	m(延長)
φ200PE直管		
L=延長-0.337 * 箇所数	m	m
φ150PE直管		
Σ(H'-H)	m(延長)	m(延長)
L=延長-0.275 * 箇所数	m	m
90°曲管φ150	個	個

中間桝設置取付管工 箇所 箇所
中間桝標準型 箇所 箇所

当初 変更

H=0.8 (ST)	箇所	箇所
H=0.8 (45L)	箇所	箇所
H=1.0 (30L)	箇所	箇所
H=1.0 (90WYS)	箇所	箇所
計	箇所	箇所
ΣH	m(延長)	m(延長)
φ200PE直管		
L=延長-0.337 * 箇所数	m	m
自在継手	個	個

直管合計
* φ200PE直管 5.2 m m

* φ150PE直管 m m
* φ100PE直管 m m
* 取付管用片受直管φ100 本 本
* 取付管用片受直管φ150 6.71本 本
* 支管取付工 5箇所 箇所

塩ビ製蓋設置 箇所

鉄蓋設置 5箇所

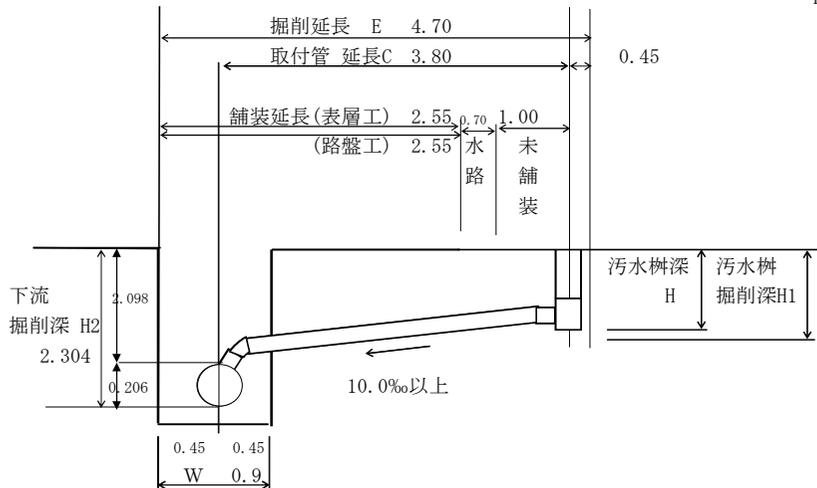
取付管数量計算書(1箇所当り)

①掘削種別(0.20)		当初	変更
1. 汚水桝平均桝深 (H)	別紙計算書より	H>1.40	H>1.40
2. 汚水桝平均掘削深 (H1)	H+0.10	1.30	
3. 下流掘削深 (H2) 土被り+0.206		2.30	
4. 取付管平均掘削深 (A)	(H1+H2)×1/2	1.80	
5. 取付管平均掘削幅 (B)	(W1+W6)×1/2	0.90	
6. 平均道路幅員			
7. 取付管延長 (C)		3.80	
8. 本管掘削幅 (W)			

土工計算

a. 掘削土量	((A)-0.05)×(B)×(E)	7.40
b. 砂基礎	{(W8)×0.365-φ150}×(E)	1.45
c. 良質土埋戻	(W4+W5)/2×0.2×(E)	0.85
d. 碎石埋戻		
e. 残土処理	a-f×1/0.9	3.47
f. 発生土埋戻	(W3+W4)/2×h1×(E)	3.54
g. 床均し	(W6)×(E)	
h. 土留工	(E)	4.70
(発生碎石量)	幅×長さ×厚 0.90×2.55×0.25	0.57

取付管標準図



舗装種別 (村道AS 下層路盤工有)

南原地区公共ます新設工事その7①

		当初		変更	
材 料		単 位	数 量		
片受直管	C	m	3.80		
可とう支管		個	1		
30°曲管		個	1		
表示シート	C-1.00-0.70	m	2.10		

※砂基礎平均幅 (W8)

$$H < 1.40 \quad (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.900$$

※碎石埋戻平均幅 (W9)

$$H < 1.40 \quad (+) \times 1/2 =$$

$$\therefore \phi 150\text{VU (控除断面)} \quad 0.165^2 \times \pi / 4 = 0.021$$

舗装復旧工

表層工 : (舗装延長)×箇所×{(W1+W2)×1/2 + 影響幅}

$$A1 = (2.55) \times 1 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 2.30 \text{ (m}^2\text{)}$$

上層路盤工 : (舗装延長)×箇所×(W2+W3)×1/2

$$A2 = (2.55) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 2.30 \text{ (m}^2\text{)}$$

下層路盤工 : (舗装延長)×箇所×(W3+W3')×1/2

$$\text{面積 : } A3 = (2.55) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 2.30 \text{ (m}^2\text{)}$$

$$\text{体積 : } A3 = (2.55) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 \times 0.25 = 0.57 \text{ (m}^3\text{)}$$

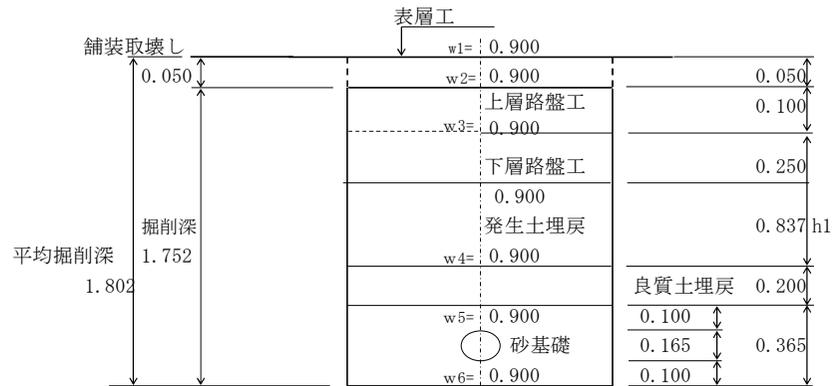
舗装取壊工 : (舗装延長)×箇所×舗装厚×{(W1+W2)×1/2 + 影響幅}

$$V = (2.55) \times 1 \times 0.050 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 0.11 \text{ (m}^3\text{)}$$

舗装切断工 : (路盤工延長×2) + (掘削幅) + (表層工延長) + (掘削幅+影響幅)

$$L = 2.55 \times 2 + 0.9 = 6.00 \text{ (m)}$$

横断面図



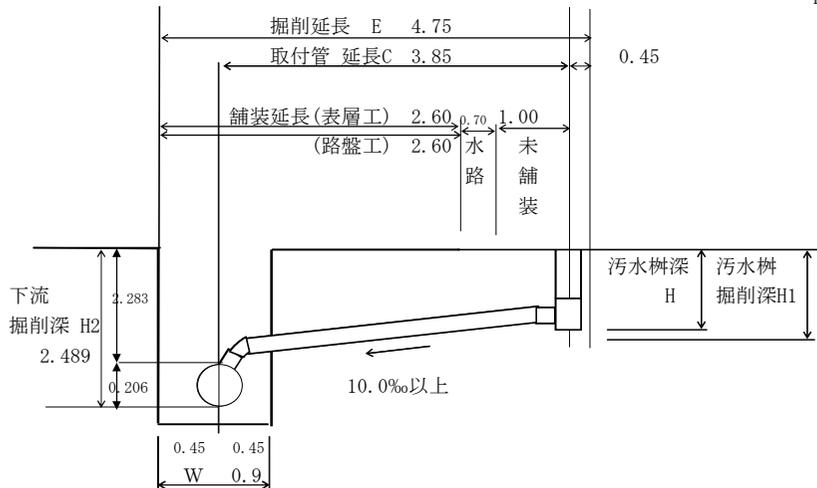
取付管数量計算書(1箇所当り)

②掘削種別(0.20)		当初	変更
1. 汚水桝平均桝深 (H)	別紙計算書より	H>1.40	H>1.40
2. 汚水桝平均掘削深 (H1)	H+0.10	1.30	
3. 下流掘削深 (H2) 土被り+0.206		2.49	
4. 取付管平均掘削深 (A)	(H1+H2)×1/2	1.90	
5. 取付管平均掘削幅 (B)	(W1+W6)×1/2	0.90	
6. 平均道路幅員			
7. 取付管延長 (C)		3.85	
8. 本管掘削幅 (W)			

土工計算

a. 掘削土量	((A)-0.05)×(B)×(E)	7.91
b. 砂基礎	{(W8)×0.365-φ150}×(E)	1.46
c. 良質土埋戻	(W4+W5)/2×0.2×(E)	0.86
d. 碎石埋戻		
e. 残土処理	a-f×1/0.9	3.49
f. 発生土埋戻	(W3+W4)/2×h1×(E)	3.98
g. 床均し	(W6)×(E)	
h. 土留工	(E)	4.75
(発生碎石量)	幅×長さ×厚 0.90×2.60×0.25	0.59

取付管標準図



舗装種別 (村道AS 下層路盤工有)

南原地区公共ます新設工事その7②

		当初	変更
材 料		単 位	数 量
片受直管	C	m	3.85
可とう支管		個	1
30°曲管		個	1
表示シート	C-1.00-0.70	m	2.15

※砂基礎平均幅 (W8)

$$H < 1.40 \quad (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.900$$

※碎石埋戻平均幅 (W9)

$$H < 1.40 \quad (+) \times 1/2 =$$

$$\therefore \phi 150\text{VU (控除断面)} \quad 0.165^2 \times \pi / 4 = 0.021$$

舗装復旧工

表層工: (舗装延長)×箇所×{(W1+W2)×1/2+影響幅}

$$A1 = (2.60) \times 1 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 2.34 \text{ (m}^2\text{)}$$

上層路盤工: (舗装延長)×箇所×(W2+W3)×1/2

$$A2 = (2.60) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 2.34 \text{ (m}^2\text{)}$$

下層路盤工: (舗装延長)×箇所×(W3+W3')×1/2

$$\text{面積: } A3 = (2.60) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 2.34 \text{ (m}^2\text{)}$$

$$\text{体積: } A3 = (2.60) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 \times 0.25 = 0.59 \text{ (m}^3\text{)}$$

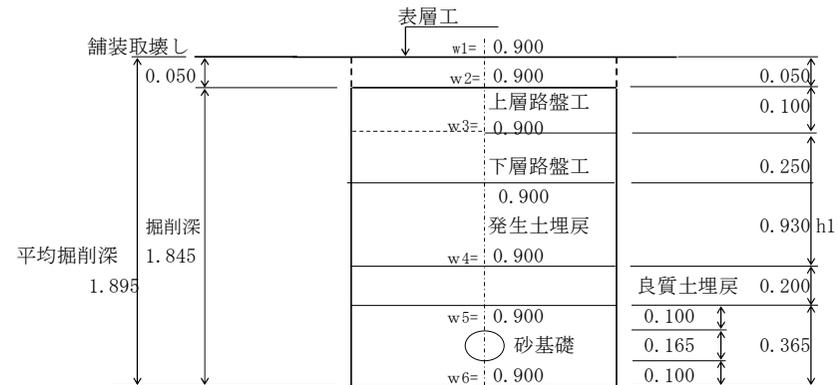
舗装取壊工: (舗装延長)×箇所×舗装厚×{(W1+W2)×1/2+影響幅}

$$V = (2.60) \times 1 \times 0.050 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 0.12 \text{ (m}^3\text{)}$$

舗装切断工: (路盤工延長×2)+(掘削幅)+(表層工延長)+(掘削幅+影響幅)

$$L = 2.60 \times 2 + 0.90 = 6.10 \text{ (m)}$$

横断面図



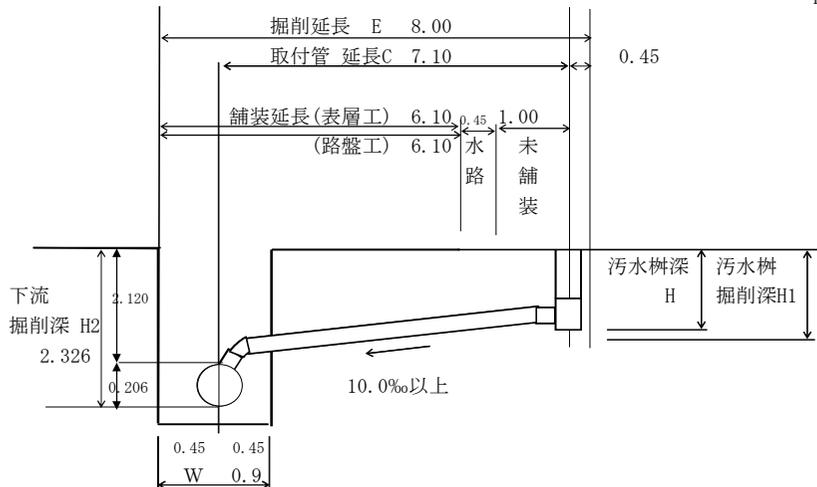
取付管数量計算書(1箇所当り)

④掘削種別(0.20)		当初	変更
1. 汚水桝平均桝深 (H)	別紙計算書より	H>1.40	H>1.40
2. 汚水桝平均掘削深 (H1)	H+0.10	1.60	
3. 下流掘削深 (H2) 土被り+0.206		2.33	
4. 取付管平均掘削深 (A)	(H1+H2)×1/2	1.96	
5. 取付管平均掘削幅 (B)	(W1+W6)×1/2	0.90	
6. 平均道路幅員			
7. 取付管延長 (C)		7.10	
8. 本管掘削幅 (W)			

土工計算

a. 掘削土量	((A)-0.05)×(B)×(E)	13.75
b. 砂基礎	{(W8)×0.365-φ150}×(E)	2.46
c. 良質土埋戻	(W4+W5)/2×0.2×(E)	1.44
d. 碎石埋戻		
e. 残土処理	a-f×1/0.9	5.76
f. 発生土埋戻	(W3+W4)/2×h1×(E)	7.19
g. 床均し	(W6)×(E)	
h. 土留工	(E)	8.00
(発生碎石量)	幅×長さ×厚 0.90×6.10×0.25	1.37

取付管標準図



舗装種別 (村道AS 下層路盤工有)

南原地区公共ます新設工事その7④

		当初	変更
材 料		単 位	数 量
片受直管	C	m	7.10
可とう支管		個	1
30°曲管		個	1
表示シート	C-1.00-0.450	m	5.65

※砂基礎平均幅 (W8)

$$H < 1.40 \quad (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.900$$

※碎石埋戻平均幅 (W9)

$$H < 1.40 \quad (+) \times 1/2 =$$

$$\therefore \phi 150\text{VU (控除断面)} \quad 0.165^2 \times \pi / 4 = 0.021$$

舗装復旧工

表層工: (舗装延長)×箇所×{(W1+W2)×1/2+影響幅}

$$A1 = (6.10) \times 1 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 5.49 \text{ (m}^2\text{)}$$

上層路盤工: (舗装延長)×箇所×(W2+W3)×1/2

$$A2 = (6.10) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 5.49 \text{ (m}^2\text{)}$$

下層路盤工: (舗装延長)×箇所×(W3+W3')×1/2

$$\text{面積: } A3 = (6.10) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 5.49 \text{ (m}^2\text{)}$$

$$\text{体積: } A3 = (6.10) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 \times 0.25 = 1.37 \text{ (m}^3\text{)}$$

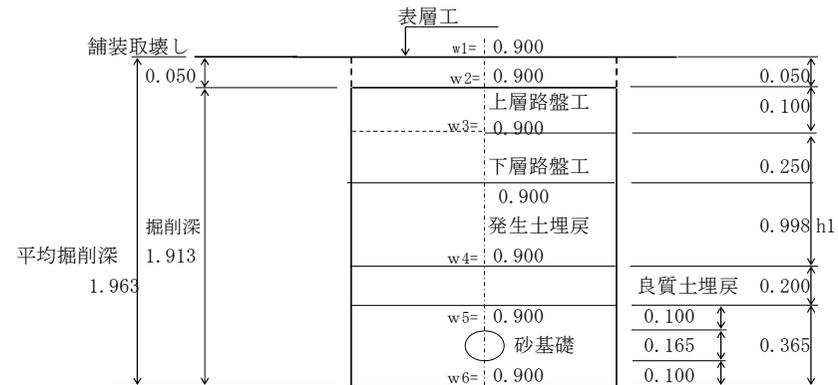
舗装取壊工: (舗装延長)×箇所×舗装厚×{(W1+W2)×1/2+影響幅}

$$V = (6.10) \times 1 \times 0.050 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 0.27 \text{ (m}^3\text{)}$$

舗装切断工: (路盤工延長×2)+(掘削幅)+(表層工延長)+(掘削幅+影響幅)

$$L = 6.10 \times 2 + 0.90 = 13.10 \text{ (m)}$$

横断面図



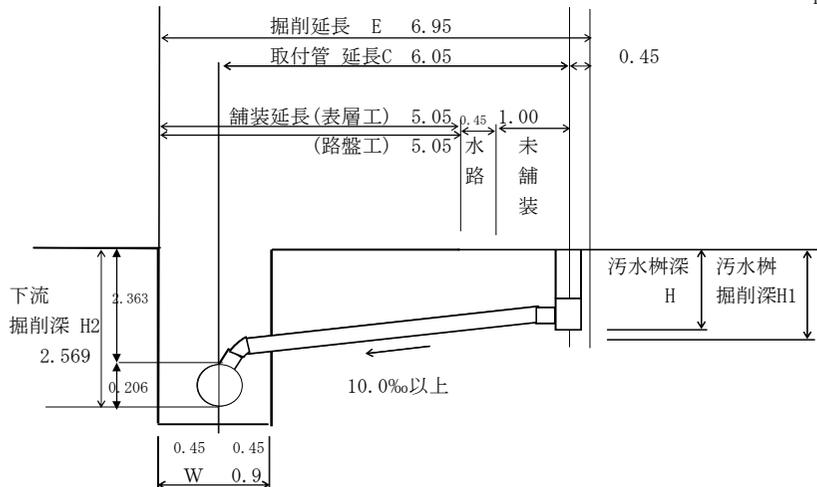
取付管数量計算書(1箇所当り)

⑤掘削種別(0.20)		当初	変更
1. 汚水桝平均桝深 (H)	別紙計算書より	H>1.40	H>1.40
2. 汚水桝平均掘削深 (H1)	H+0.10	1.60	
3. 下流掘削深 (H2) 土被り+0.206		2.57	
4. 取付管平均掘削深 (A)	(H1+H2)×1/2	2.09	
5. 取付管平均掘削幅 (B)	(W1+W6)×1/2	0.90	
6. 平均道路幅員			
7. 取付管延長 (C)		6.05	
8. 本管掘削幅 (W)			

土工計算

a. 掘削土量	((A)-0.05)×(B)×(E)	12.76
b. 砂基礎	{(W8)×0.365-φ150}×(E)	2.14
c. 良質土埋戻	(W4+W5)/2×0.2×(E)	1.25
d. 碎石埋戻		
e. 残土処理	a-f×1/0.9	4.97
f. 発生土埋戻	(W3+W4)/2×h1×(E)	7.01
g. 床均し	(W6)×(E)	
h. 土留工	(E)	6.95
(発生碎石量)	幅×長さ×厚 0.90×5.05×0.25	1.14

取付管標準図



舗装種別 (村道AS 下層路盤工有)

南原地区公共ます新設工事その7⑤

		当初 変更	
材 料		単 位	数 量
片受直管	C	m	6.05
可とう支管		個	1
30°曲管		個	1
表示シート	C-1.00-0.45	m	4.60

※砂基礎平均幅 (W8)

$$H < 1.40 \quad (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.900$$

※碎石埋戻平均幅 (W9)

$$H < 1.40 \quad (+) \times 1/2 =$$

$$\therefore \phi 150\text{VU (控除断面)} \quad 0.165^2 \times \pi / 4 = 0.021$$

舗装復旧工

表層工：(舗装延長)×箇所×{(W1+W2)×1/2+影響幅}

$$A1 = (5.05) \times 1 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 4.55 \text{ (m}^2\text{)}$$

上層路盤工：(舗装延長)×箇所×(W2+W3)×1/2

$$A2 = (5.05) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 4.55 \text{ (m}^2\text{)}$$

下層路盤工：(舗装延長)×箇所×(W3+W3')×1/2

$$\text{面積} : A3 = (5.05) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 4.55 \text{ (m}^2\text{)}$$

$$\text{体積} : A3 = (5.05) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 \times 0.25 = 1.14 \text{ (m}^3\text{)}$$

舗装取壊工：(舗装延長)×箇所×舗装厚×{(W1+W2)×1/2+影響幅}

$$V = (5.05) \times 1 \times 0.050 \times \{ (0.900 + 0.900) \times 1/2 \} = 0.23 \text{ (m}^3\text{)}$$

舗装切断工：(路盤工延長×2)+(掘削幅)+(表層工延長)+(掘削幅+影響幅)

$$L = 5.05 \times 2 + 0.90 = 11.00 \text{ (m)}$$

横断面図

